

年 組 番 名前

教材 4 - (1) の解答 天気の様子

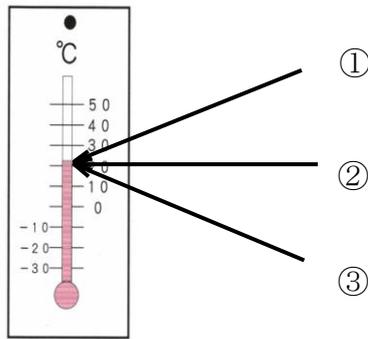
○ 次の問いに答えましょう。

(1) 晴れた日の外の気温のはかり方について、次の①～③の中から正しいものを1つ選び、その番号を書きましょう。

- ① 温度計の液だめに直接日光が当たるようにして、風通しのよい場所ではかる。
- ② 温度計の液だめに直接日光が当たらないようにして、風通しのよい場所ではかる。
- ③ 温度計の液だめに直接日光が当たらないようにして、風通しの悪い場所ではかる。

②

(2) 温度計を読むときの目の位置について、次の①～③の中で正しいものを1つ選び、その番号を書きましょう。



②

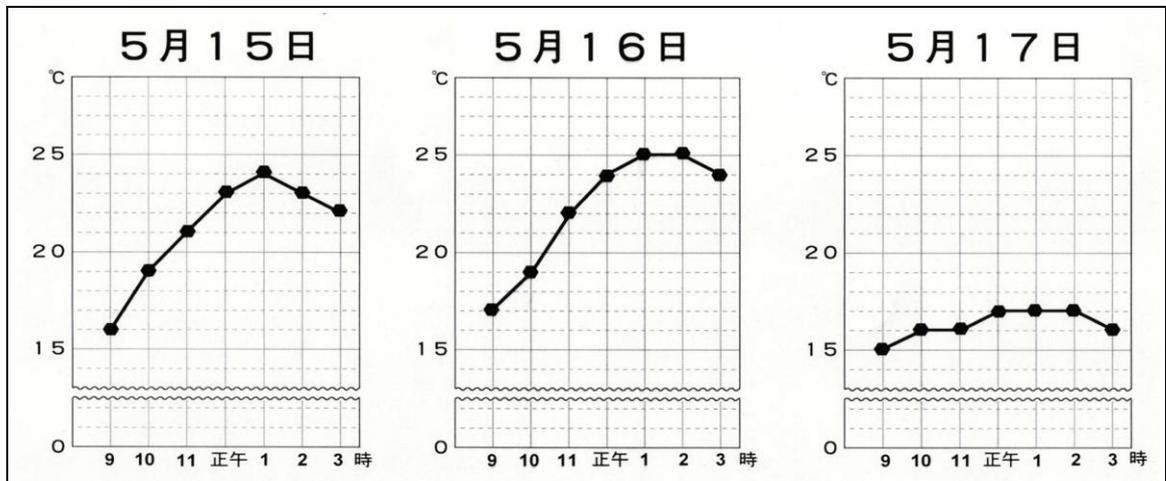
ポイント

液だめに手をふれたり、息をかけたりしないようにしまし
う。正しい気温がはかれません。

注意しよう

(3) 次の【グラフ】は、5月15日から3日間の、それぞれ午前9時から午後3時までの気温の変わり方を記録したものです。

【グラフ】



□年 □組 □番 名前 □

(ア) 3日間のうち、晴れの日は何日あったでしょうか。



晴れの日の気温の変化のグラフは、山のような形をしています。

2

日

(イ) 晴れの日の気温の変わり方のとくちょうについて、次の①～③の中から正しいものを1つ選び、その番号を書きましょう。

- ① くもりや雨の日と比べて、気温の変わり方が大きい。
- ② くもりや雨の日と比べて、気温の変わり方が小さい。
- ③ くもりや雨の日と、気温の変わり方はあまり変わらない。

①

(4) コップの中に氷水を入れました。しばらくすると、コップの外側に水のつぶがつきました。

(ア) コップの外側に水のつぶがついたのは、空気中の何がコップの表面で冷やされたからですか。

水じょう気

(イ) 晴れている寒い日の朝、まどのガラスにも水のつぶがつくことがあります。水のつぶがつくのは、まどのどちら側でしょうか。次の①～③の中から正しいものを1つ選び、その番号を書きましょう。

- ① まどの内側
- ② まどの外側
- ③ まどの内側と外側の両方

①



部屋の中は外よりあたたかいので、まどのガラスの回りの空気が冷やされて、空気中の水じょう気が水のつぶとなり、まどのガラスの内側につきます。

まとめの学習

ひゃくようばこ

○百葉箱の仕組みについて調べましょう。

○気温が最も高くなる時こくは午後1～2時です。太陽が最も高くなる正午から1～2時間ほどおくれるのはなぜでしょうか。

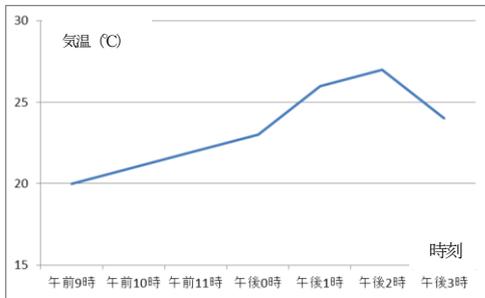
□年 □組 □番 名前 □

教材4-(2)の解答 天気の様子

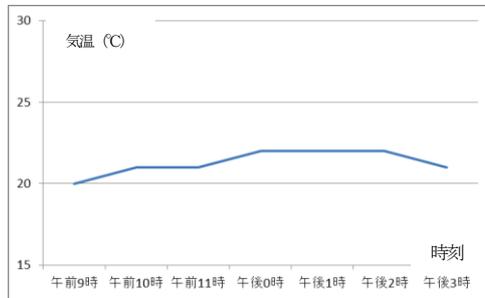
○次の問いに答えましょう。

- (1) ある2日間の気温の変化を調べてグラフにしたところ、次のようになりました。
1日を通して、くもりであったと考えられるグラフの番号を書きましょう。

①



②



②

- (2) 1日の気温の変化を調べた結果からわかることについて、次のようにまとめました。文の中のア～ウで、正しいことばをそれぞれ選び、その番号を書きましょう。

晴れの日、気温の変化が (ア ①大きく ②小さく) , 昼すぎの気温が一番 (イ ①低い ②高い) 。また、くもりや雨の日、晴れの日と比べて、気温の変化が (ウ ①大きい ②小さい) 。

ポイント

○晴れの日、気温の変化が山型のグラフに、くもりや雨の日、気温があまり上がらない平らなグラフになります。

ア

①

イ

②

ウ

②

- (3) 冷たい氷水の入ったコップをしばらく室内に置いたところ、【図】のようにコップの表面に水てきがつきました。このことについて説明した次の文の、ア、イにあてはまることばを、下の①～④の中から1つ選び、その番号を書きましょう。

【図】



- ・コップの表面についた水てきは、空気中の (ア) が冷たいコップにふれて冷やされ、 (イ) のつぶとなつてついたものである。

①水じょう気 ②水 ③氷 ④空気

ポイント

○晴れている寒い日の朝、まどガラスの内側に水てきがつくのも同じです。

ア

①

イ

②

年

組

番 名前

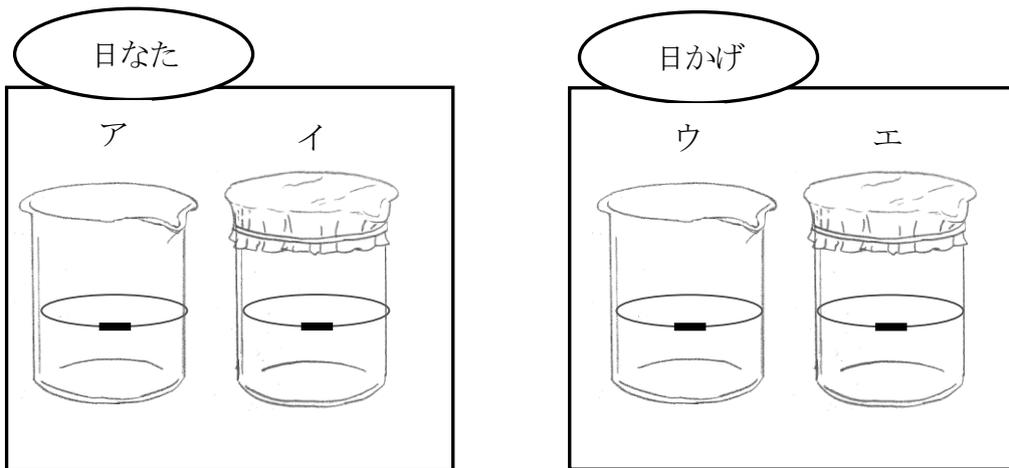
教材 4 - (3) の解答 天気の様子

○次の問いに答えましょう。

(1) 次のような実験をしました。この実験から分かることを書きましょう。

<実験>

ラップシートでおおいをしたビーカーとおおいのないビーカーにそれぞれ同じ量の水を入れ、2セット用意し、一方は日なた、もう一方は日かげにおいて、しばらく置いた後、水の量などを調べました。



<結果>

アは水がへっていた。

イは水はへってなかった。ラップには水てきがついていた。

ウは水が少しへっていた。

エは水はへってなかった。ラップに少しだけ水てきがついていた。

この実験結果からどんなことが考えられますか。下に考えをまとめて書きましょう。

おおいをしないと、水がへっているということから、水がじょう発して空気中に出て行ったと考えられます。

また、日なたのほうがじょう発した水の量が多いことから、温かいほうが、早くじょう発すると考えられます。

ポイント

考察を書くときは、自分の考えと、根きよを示すようにしましょう。

年

組

番 名前

教材 4 - (4) の解答**天気の様子**

○次のようなことがおこったわけについて習ったことをもとに説明してみましょう。

- (1) 冷やしておいたジュースの入ったペットボトルを机においておいたら外側に水てきがついていた。

ペットボトルのまわりの空気が冷やされて、空気中の水じょう気が水てきになってペットボトルの周りについた。

- (2) (1) のペットボトルをさらにそのままつくえにおきっぱなしにしておくと、外側についていた水てきがなくなっていた。

ペットボトルの中のジュースの温度が上がり、表面についていた水てきがふたたび、水じょう気となって空気中に出ていった。

- (3) 寒い日の朝、部屋の窓ガラスの内側に水てきがついていた。

部屋の空気中にふくまれていた水じょう気が冷たくなったガラスにふれてが水てきになって、ガラスの表面についた。

ポイント

空気中には水じょう気がふくまれていて、冷やされると、水になって目に見えるようになります。上の例のように、空気中の水じょう気が冷やされて（冷たいものにふれて）水てきがつくことを結露（けつろ）といいます。